

# 異物鑑別検査のご案内

異物の混入、カビ、異味、異臭、膨張などさまざまな食品のクレームがありますが、弊社では、お客様からのクレームに対応できるよう、異物種による料金体系で、短納期での異物鑑別検査を受託開始致します

クレーム内容により、検査項目を選択して頂けるようメニューを揃えておりますので、目的にあった検査をご選択下さい。

## 検査ご依頼の主な流れ



異物・カビ・異味・異臭・膨張等のクレーム

異物・カビ  
(原因物質を目視にて確認できる場合)

異味・異臭・膨張  
(原因物質が固体で存在しない場合)

クレーム品検査セット

➤ 異物鑑別検査 ➤  
(写真・参考情報あり)

カビ判別検査  
(写真・参考情報なし)

顕微鏡観察

カビ・細菌

昆虫・生物  
全般

植物片

獣毛・毛髪

食痕・糞尿

血痕

骨片・貝殻  
石・ガラス

樹脂

金属

その他

追加検査

比較試験

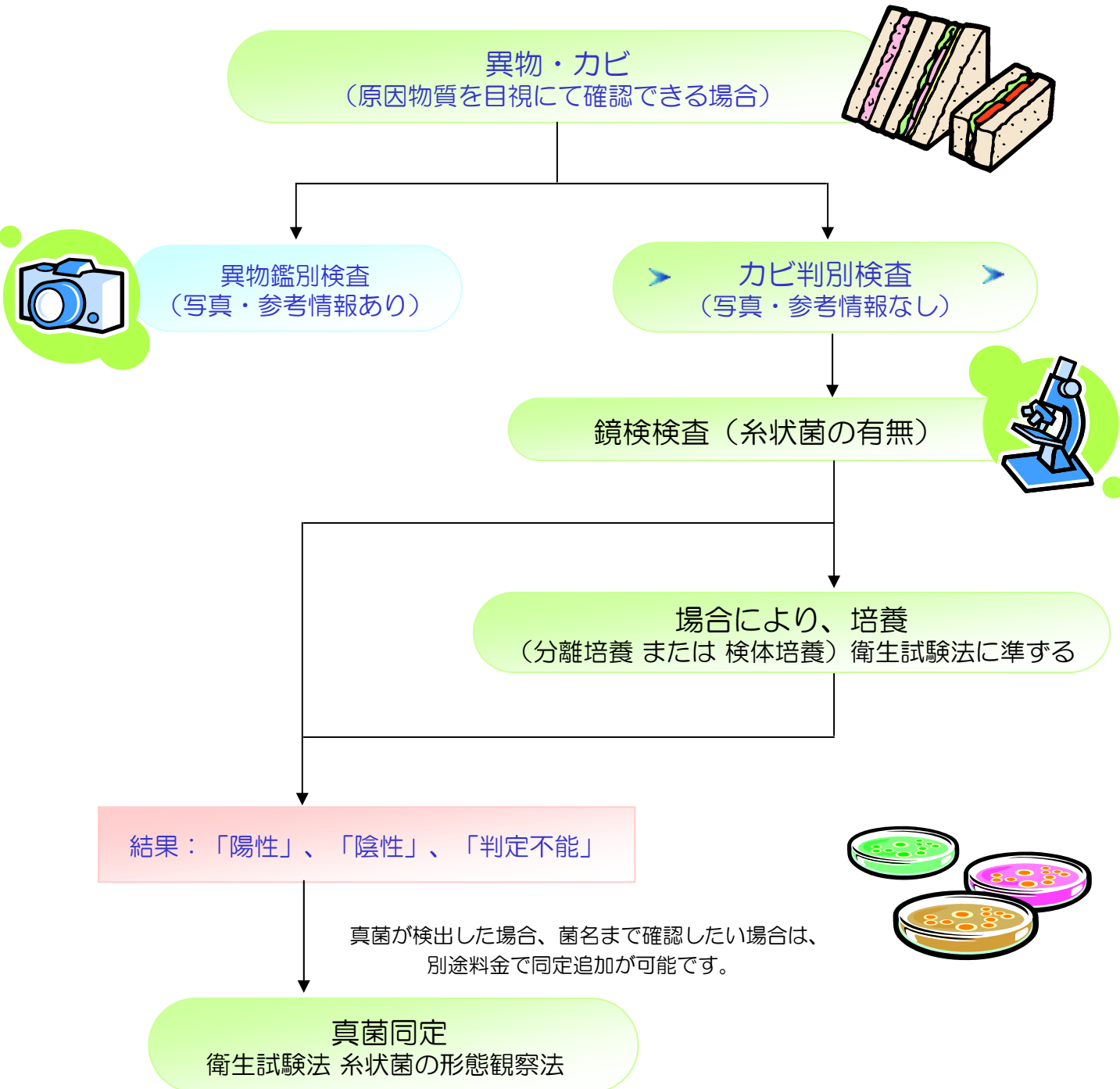
カタラーゼ試験

# カビ判別検査のご案内



異物の中でもカビについてはお客様からのクレーム頻度も高く、詳細な鑑別や説明が必要な場合と、カビであるかどうかのみを安価で確認したいなど、お客様のニーズはさまざまです。そうしたニーズにお答えできるよう検査メニューを取り揃えております。

## 検査ご依頼の主な流れ



# 異物検体種別のご紹介



異物検体種別	内 容
カビ・細菌	鏡検検査により糸状菌（カビや酵母）の有無やグラム染色による菌の観察を行い、場合により培養にて発育を確認します。 菌が検出された際には、菌の同定を行います。
昆虫・生物	昆虫や寄生虫の他に、爬虫類や両生類も検査可能です。
植物	植物片かどうかの同定検査です。 植物組織の顕微鏡観察と呈色試験（セルロース反応・リグニン反応）を中心とした検査を実施します。 植物の種類は特定できません。
毛髪	獣毛や人毛などの判別を行います。 スンプ法によるキューティクルの形状確認や顕微鏡での髄質確認を行います。 体のどの部分の毛かであるかは特定できません。
食痕・糞	食痕の観察と付着毛の分析を行います。 付着毛採取のため、パッケージなどの全てをお送り下さい。
血痕	ルミノール反応もしくはベンチジン反応を確認します。 ほ乳類に限られ、人と獣の区別、昆虫の体液の検査はできません。
骨片・石・ガラス	骨片・貝殻・石・ガラス等の検査です。 原則として生物の種類や骨の部位、および石やガラスの種類の特異はできません。 外観観察、発泡試験（カルシウム検査）、機器分析等の試験方法を必要に応じて行います。
樹脂	機器分析を行ない素材の定性をします。
金属	機器分析を行ない素材の定性をします。
その他	黒色異物や原料由来の有機物。製品等の変色原因。 各種試験・機器分析を必要に応じて行います。
比較品検査	比較試験は当該検査品と同等の検査範囲で実施します。 主に樹脂、金属の比較です。 原則として昆虫などの比較試験は行っておりません。
カタラーゼ追加検査	生体内のカタラーゼ酵素を確認する試験で、対象は昆虫、その他節足動物、獣毛、毛髪等です。腐敗したものは検査不能です。 同定検査を行わずカタラーゼ試験のみ実施する場合は報告書作成料を含むため、検査料金は¥11,000-となります。 気温の高い時期に輸送する場合は、クール便をご利用下さい。 毛根のない毛髪や獣毛ではカタラーゼ試験は行えません。
報告書修正再発行	誤字脱字等に由来する手直しには料金はかかりません。 再発行時には先に提出した報告書のご返却をお願いしております。

カビ判別検査	鏡検検査により糸状菌（カビや酵母）の有無を観察し、場合により培養を行って発育を確認して、カビであるか否かをご報告します。
カビ判別検査 (同定追加あり)	カビ判別検査セットによる検査にて、カビが検出された場合に、菌の同定を行います。

# 異物鑑別検査で行う検査項目のご紹介

検査項目	内 容
顕微鏡観察	光学顕微鏡を使用し、異物の外観や詳細を観察して推定を行います。
セルロース反応	植物反応で、植物細胞に含まれるセルロースを紫色に染色し判断します。
フロログルシン反応	リグニン（植物質）の有無を確認することにより、植物由来かどうかを判別します。木化反応を確認できます。
スンプ法	毛髪などの凹凸やキューティクルの形を確認するため、影像を顕微鏡で観察する方法で、葉の表面・動物の毛・りん片なども簡単にプレパラートにすることができます
ルミノール反応	ルミノールは鉄、銅、コバルト等のイオンが存在すると強く発光する事を利用し、血液にはヘモグロビン由来の鉄分が含まれているため、血痕に噴霧すると暗所で青白く発光します。肉眼での判断が困難な場合でも判別する事ができます。
ベンチジン反応	血液中のヘモグロビンの触媒作用で青紫色に発色する（酸化型ベンチジンに変化します）ことを確認します。
赤外分光分析 (IR)	赤外光を用いて、物質（主に有機物）の赤外吸収について測定します。タンパク質・油分・糖質・合成樹脂などが確認できます。
蛍光X線分析 (金属の鑑別)	物質にX線を照射し、物質に含まれる元素の種類と量を分析します。
燃焼試験	異物を燃やして燃焼性の有無を判定します。また、燃やした時の臭いや煙の出方等を詳しく観察することにより、鑑別の手助けをします。
溶解試験	異物が水、酸やアルカリ、有機溶媒等に溶解するかを調べます。
ヨウ素でんぷん反応	微量のデンプンの検出に利用できます。デンプンの呈色は青～紫で、デキストリンは紫～赤。グリコーゲンは褐色を呈します。
キサントプロテイン反応	タンパク反応（アミノ酸を含む物質を橙色に染色する）で、タンパク質の有無を確認します。
オイルレッド反応	油分や脂肪が赤く染色することを確認します。
アンスロン反応	アンスロン反応で糖の有無を確認します。
カルシウム反応	異物に塩酸をかけて発泡するかどうかを確認する検査です。歯や骨などの判断に使用します。
カタラーゼ試験	異物に熱が加えられている（加熱処理、熱湯消毒など）か、かなりの日数（物質により変化あり）が経っている場合には、カタラーゼ活性が無くなるのを利用した、生体内のカタラーゼ酵素を確認する検査です。

- ▶ 異物鑑別検査の納期は約1週間～10日です。
- ▶ 異物検体は、セロテープで貼り付けず、シャーレ等の容器に入れるか、ラップに包んでご送付下さい。
- ▶ 検査料金は検体種別により定額料金ですが、比較品や追加検査を実施された場合はその料金の合算となります。

株式会社セントラル医学検査研究所 総合衛生事業部

〒310-0804 茨城県水戸市白梅2丁目9-13

TEL 029-225-8858 FAX 029-225-8874

ホームページ <http://www.central-icl.com> E-mail: [eisei@central-icl.com](mailto:eisei@central-icl.com)

